

みどりの東北

MIDORI NO TOHOKU

CONTENTS

今年度の事業を振り返って

特集 ● 津軽白神森林環境保全ふれあいセンター・朝日庄内森林環境保全ふれあいセンター

地元小学校の森林環境学習

美しい森林づくり ● 岩手南部森林管理署遠野支署

おたき雄滝・めたき雌滝

我が署の名所 ● 三陸中部森林管理署

朝日の山々を包み込む雲海（朝日庄内森林環境保全ふれあいセンター撮影）

Vol. **107**
東北森林管理局

特集 1

今年度の活動を振り返って

津軽白神森林環境保全ふれあいセンター



Special Feature Article



自然再生活動（植栽を終えて）

津軽白神森林環境保全ふれあいセンターでは、白神山地、十二湖、岩木山、屏風山などをフィールドに、ボランティアによる自然再生活動、自然観察会や林業体験等を通じての森林環境教育、ボランティア団体やNPO等の支援、世界自然遺産地域の巡視活動などに取り組んでいます。

○自然再生活動

白神山地周辺における自然再生は、スギを抜き伐りし、広葉樹の発生や生育を促し、広葉樹の発生が少ない箇所には、ブナ等の遺伝子情報を守るため植栽箇所近隣から採取した苗木を使用し、白神山地の本来の広葉樹林に戻すことを目的に活動をしています。

今年度は、7月7日(土)と9月1日(土)に一般公募で集まったボランティア36名により、後日小学生が林業体験で使用する苗木の採取を実施。また、9月8日(土)に鱒ヶ沢町の団体、21日(金)には五所川原市にある団体が苗木の採取や活動拠点箇所への植栽を行いました。

作業後は、奥赤石ブナ遺伝資源保存林やくろくまの滝を散策し、白神の自然を体感しました。

参加者から、採取する苗木の名前や根の張り方、仮植方法を覚えながら楽しい経験ができたとの感想がありました。

また、今年度は、シードトラップを設置し種子の採取を試みました。ブナは不作のため採取できませんでしたが、カエデ類の種子が採取できたので、この種子を発芽させ、後に植栽できるように考えています。



シードトラップの設置（種子の採取）

○森林環境教育・林業体験

地元の小学生に森林での体験を通して、白神山地や森林について学んでもらおうというものです。

9月5日(水)舞戸小学校4年生57名、6日(木)には西海小学校5年生19名が、白神山地が世界遺産地域に登録された意義や森林の機能について当センター職員から説明を受けた後、自然再生活動で採取しておいた広葉樹を植栽しました。また、日本の滝百選でもある「くろくまの滝」まで散策し、白神山地の自然を体感していました。

西海小学校の児童は、4年生の時の体験を思い出しながら植栽しました。なお、昨

年雨で行けなかった「くろくまの滝」への散策は行くことができました。



森林環境教育・林業体験（ブナに触れて）



森林環境教育・林業体験（児童による植樹）

○自然観察会

森林を歩きながら自然に親しみ、自然の仕組みや人と自然とのつながりを感じてもらうために毎年開催しているものです。

今年度は、春の十二湖、夏の津軽峠、秋には色づき始めた「奥赤石ブナ遺伝資源保存林」や「くろくまの滝・赤石溪流」を散策し、参加された方は、春・夏・秋それぞれの白神山地を堪能できたのではと思っています。